

教えて

パイセン!

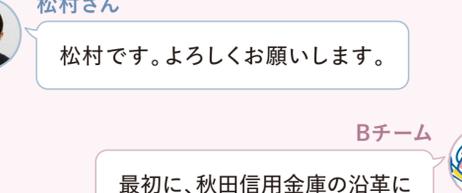
サキホコレ学園による
秋田暮らしインタビュー

仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いてみました!

秋田信用金庫牛島支店

今回サキホコレ学園Bチームが訪れたのは、「あきしん」の愛称で地元の人々に親しまれている秋田信用金庫。ここで働く先輩はどんな仕事をして、どんなライフスタイルを送っているのでしょうか。話を聞くため、営業店の中で2番目に古い歴史をもつという牛島支店へ突撃します!

今回のパイセン



松村さん

Bチーム

本日はよろしくお願いします!

松橋さん

支店長の松橋です。こちらこそよろしくお願いします。

松村さん

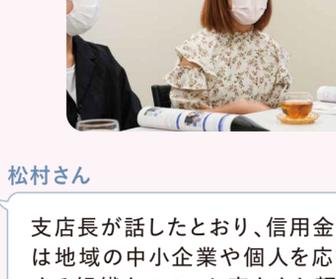
松村です。よろしくお願いします。

Bチーム

最初に、秋田信用金庫の沿革について簡単に教えてください。

松橋さん

秋田信用金庫は1911年、地域の繁栄を図ることを目的として設立された相互扶助型の金融機関です。「共生・信頼・変革」の経営理念のもと、地域企業や地域住民の課題解決に貢献できるような日々取り組み続け、2021年3月には創業110周年を迎えました。この牛島支店は1942年、本店の次に誕生した支店で、今年で開設80年になります。



Bチーム

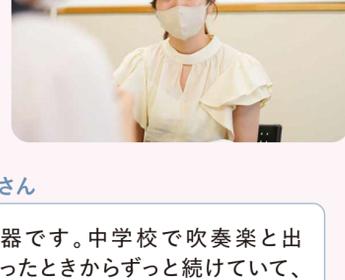
相互扶助型の金融機関とは何ですか?

松橋さん

地域の発展を利用者同士で実現するために設立された金融機関です。銀行と大きく異なるのは、営業エリアが一定の地域に限定されていて、エリア外に居住している方は利用できない点。信用金庫は、地域で頑張っている中小企業や個人を応援するために、地域のお客さまからお預かりした資金を地域に還元する協同組織金融機関なんです。

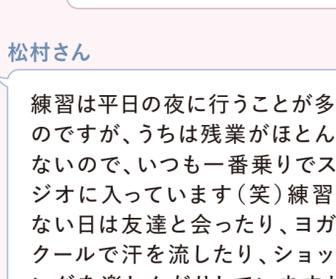
Bチーム

松村さん、この仕事のどんなところが好きですか?



松村さん

支店長が話したとおり、信用金庫は地域の中小企業や個人を応援する組織なので、お客さまと顔の見える距離感で仕事ができることですね。時にはお客さまと趣味の話で盛り上がり、プライベートで共通の趣味に興じたり、逆にプライベートで知り合った方が、お客さまになったりすることもあります。



Bチーム

仕事で大切にしていることは何ですか?

松村さん

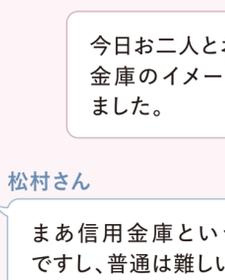
私は窓口業務を担当しているのですが、書類だけでは分からないお客さまの思いや事業の強みを、時間をかけて行う対話の中から探り出すことです。今はインターネットでも融資の審査を行うことができますが、それだけだとより良い条件を引き出ししたり、お客さまにとって有益な情報を提供したりすることができないので。私はできる限り、お客さまのもとへ足を運びたいと思っています。

Bチーム

先ほど趣味の話で盛り上がったというお話をされていましたが、どんな趣味ですか?

松村さん

楽器です。中学校で吹奏楽と出会ったときからずっと続けていて、今はジャズバンドでアルトサクソフーンを吹いています。



Bチーム

カッコいい!バンドだと練習があると思うのですが、時間は作れますか?

松村さん

練習は平日の夜に行うことが多いのですが、うちは残業がほとんどないので、いつも一番乗りでスタジオに入っています(笑)練習がない日は友達と会ったり、ヨガスクールで汗を流したり、ショッピングを楽しんだりしていますよ。他の会社で働く友達からうらやましがられるくらい、プライベートは充実しています。

Bチーム

いいですね!他にも働きやすいと感じる点がありますか?

松村さん

職制・職種に男女の偏りがないところですね。昔は昇進して管理職になる女性はほとんどいなかったようですが、今は女性の支店長や次長もいますし、働く上で性別が障壁になっていると感じることはありません。それと産休や育休の制度もしっかりしているので、女性としては安心感があります。

Bチーム

職場の雰囲気はどのような感じですか?

松村さん

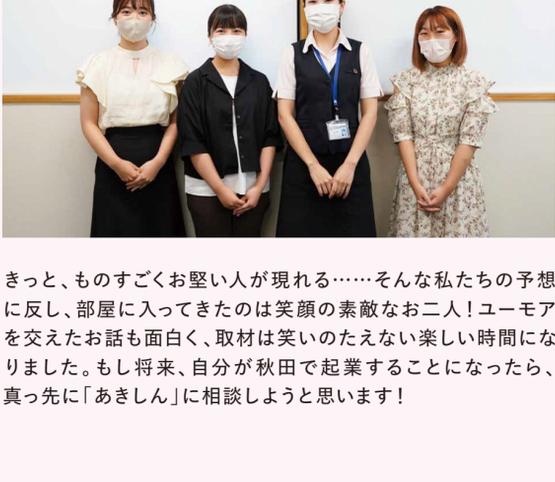
上下のポジションを意識することなく、誰とでもフランクに話すことができます。職場のBBQや食事会を外部の人が見たら、「親戚の集まりかな?」と勘違いすると思いますよ(笑)それくらい皆、仲がよいです。

Bチーム

今日お二人とお話して、信用金庫のイメージが少し変わりました。

松村さん

まあ信用金庫という字面も堅いですし、普通は難しい顔をしている人が多い職場を想像しますよね。だけど実際は、まったく堅苦しくありませんよ。うちが特殊なだけかもしれないですけど(笑)



きっと、ものすごくお堅い人が現れる……そんな私たちの予想に反し、部屋に入ってきたのは笑顔の素敵なお二人!ユーモアを交えたお話しも面白く、取材は笑いのたえない楽しい時間になりました。もし将来、自分が秋田で起業することになったら、真っ先に「あきしん」に相談しようと思います!